

# 浜松にスリッター工場開設

## 納期、品質などサービス向上

特殊鋼コイルセンターの鐘光産業（本社・兵庫県尼崎市、社長・藤本恵一氏）は、東海地区の販売先に納期や品質などのサービス向上を図るため、静岡県浜松市に新工場を開設した。大小のスリッターラインを1基ずつ設置しており、本格稼働は来年1月。月間加工量1300トでスタートし、来年度（2026年3月期）中には1500トを目指す。藤本社長は「新工場は流通の機能が問われる時代に商権を守るための投資。拡販が目的ではないが、お客さまに何ら



来年1月に本稼働に入る浜松工場

かのプラス効果があれば自然と量は増えていくと思う」としている。同社は、S45C以上のハイカーボン鋼のスリットコイルを自動車部品メーカーを主力に刃物関連のユーザーにも供給している。東海地区のユーザーには、

外注先のコイルセンターから供給していたが、コロナ下でユーザーの生産が停滞し、外注先にコイル在庫が滞留。また細幅のスリットコイルは本社から配送していたこともあり、「当社が納期や品質面でレベルアップし、お客さまから継続的に安心して注文をいただくには、自社でコイルセンターを持つしかない」（藤本社長）と判断。3年前から東海地区での新工場開設を検討していた。

浜松工場の敷地面積は5762平方メートル、工場面積は2223平方

メートル。大型スリッターライン（対応可能サイズ1250ミリ幅まで、0.6〜6ミリ厚）、小型スリッターライン（同1450ミリ幅まで、0.5〜3ミリ厚）を1基ずつ設置している。今後、需要動向を見ながら小型スリッターラインの増設も検討していく。

同社は本社工場にスリッターラインを大型

1ライン、小型4ラインは2千ト程度で、在庫量は加工後のスリットを保有。またタイにも工場を持ち、スリットを中心に供給している。

